



緑の村  
いなわしろ淡水魚館が装い新たに

# 「アクアマリン いなわしろカワセミ水族館」

として

## 新しい水族館の魅力・見どころは？



### 【Interview】

アクアマリン  
いなわしろカワセミ水族館

磯谷 義雄 副館長

「自然を切り取ったような  
展示をご覧ください」

新しくなった淡水魚館の展示方法は、以前とは全く異なります。「アクアマリンふくしま」の手法で、自然界をそのまま切り取り、生物の住む環境も展示しています。そういったところもご覧いただき、自然と生物や人間と生物の関わりを感じてもらえればと思います。

ゲンゴロウやアメンボなどの水生昆虫を展示する「おもしろ箱水族館」もおすすめです。昔はどこにでもいたこれらの昆虫は、今ではほとんど見られなくなってしまいました。見たことがない子どもたちも多いと思うので、ぜひ見てほしいですね。

今後は、季節に応じた企画展なども開催し、「あそこに行けば何か面白いことがある」と感じてもらえるような、何度来ても楽しめる水族館にしていきたいと思っています。夏休み前には、「ヨーロッパカワソ」も展示する予定です。

町民の皆さんをはじめ、町内の各観光施設、観光関連団体などと連携を図りながら、当館が町の観光振興の核となるよう運営していきたいと考えています。

町民の皆さんにもぜひ一度おいでいただき、感動をたくさんの人に伝えてもらいたいと思っています。口コミやインターネットなど、さまざまなツールで町内外の方に発信していただけると大変ありがたいです。

いなわしろ淡水魚館が4月25日、「アクアマリンいなわしろカワセミ水族館」としてリニューアルオープンしました。今後は、「アクアマリンふくしま」を手掛ける、ふくしま海洋科学館が運営していくことになります。

今月号では、館内の一部を紹介します。今回紹介する他にも、新しい水族館には魅力がいっぱいです。皆さんもぜひ足を運んでみてください。



▲おすすめの展示「おもしろ箱水族館」。約20㍓四方の水槽にゲンゴロウ、ミズカマキリやサンショウウオなど、今ではあまり見られなくなった水生生物が約40種類展示されています



▲シジミ、メダカやカワエビなどに触れることができる水槽は子どもたちに大人気



▲イトヨの展示。生物を観察するだけではなく、生息する環境も見ることができるのが魅力



## Pick Up

今月のイベント

町内をS Lが  
走り抜ける



県と県内全市町村、JRグループ6社が一体となって取り組む大型観光キャンペーン「ふくしまデスティネーションキャンペーン（DC）」を記念し4月18、19の両日、JR磐越西線郡山―会津若松駅間で「SL福が満開ふくしま号」が運行されました。

「デゴイチ」の愛称で親しまれている蒸気機関車D51-498号機が、両駅間を各日1往復。時折汽笛を鳴らし、煙をはきながら、町内を力強く駆け抜けました。

両日ともに、上り線はJR猪苗代駅に16分間停車。同駅のホームでは、いなわしろ天鏡太鼓が勇壮な演奏を披露し、乗客らを歓迎しました。

野口英世記念館、猪苗代観光協会、町の職員らも乗客に記念品などを手渡したほか、町の当地キャラクター「ひでくん」と共に歓迎の横断幕を掲げるなどしました。

雄大な磐梯山を大きく望める本町は、列車の撮影スポットとしても人気が高く、SLが走る時間には、線路沿いのあちこちに多くの鉄道ファンが集まりました。それぞれが思い入りの場所のカメラを構え、列車が通過すると夢中でシャッターを切っていました。

まちの応援マガジン いなわしろ

## 広報 猪苗代

May.2015  
5  
No.655

### 今月の表紙



観音寺川の散歩に訪れた福地寿泉さん、美月ちゃん親子。この日の桜は八分咲きほどでしたが、「みーちゃん、ほら見てー。きれいだねー」「うわー、ほんとだー」と花より一足早く、満開の笑顔を咲かせました。

【撮影日】 4月24日

【撮影場所】 観音寺川

## Contents — 【目次】

- 02 Pick up
- 03 「アクアマリンいなわしろカワセミ水族館」オープン
- 04 109人の区長に委嘱状交付
- 05 新任課長・新採用職員紹介
- 06 平成26年度 下半期財政状況
- 08 まちのわだい
- 10 笑顔でこんにちは／湖の清掃活動が本格始動
- 11 希望を胸に入園・入学
- 12 いなわしろタウンページ
- 18 暮らしの情報広場
- 20 みんなの美術館／食生活改善推進員コーナー